

第1学年 美術科学習指導案

平成29年11月2日(木) 第5校時
場 所 美 術 室

- 1 題材名 マイ・シューズ (デザイン)
A表現 (2) B鑑賞 (1)

2 題材について

(1) 題材観

第1学年の表現の目標として、「(2) 対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。」とある。これを踏まえ、生徒は1学期に色の特徴や、文字のデザイン(絵文字)について学習してきた。本題材では既習を生かし、まず身近に履いているシューズに関心をもたせ、さまざまなデザインがあることを気づかせたい。さらに、一人一人が「自分がデザインしたシューズを本当に履いてみたい」という思いを出発点に思案・制作する中で、個々のもつ美的感性や興味、構成する能力を高めるための指導を実践する。このように、本題材を通し自分が本当に履いてみたいシューズをデザインすることは、作品に対する自分の思いを深めさせ、生徒一人一人の主体的な創作へとつながっていくと考える。

(2) 指導観

題材の導入時は、参考資料や視覚的に強く訴える手法を用いて、新鮮で刺激のある題材との出会いを演出し生徒の関心・意欲を高める。また、アイデアスケッチの際には机間指導を徹底する。どうしてもアイデアが思い浮かばず活動が進まない生徒に対しては、何が原因なのか積極的に言葉がけをし、解決でき得る要素を共に探り自分の力で活動を進めていけるように支援する。また、生徒に発想の構想や創造的技術のコツを取得・徹底させることで、表現する喜びを味わわせ、集中力を高めさせていく。併せて‘生徒一人一作品の良いところ一言’の実践も目指していきたい。

(3) 研修課題

「中学校における効果的な地域連携のあり方～コミュニティ・スクールにおける効果的な実践を目指して～」

本校は昨年度からコミュニティ・スクールとしてスタートしたが、本年度も継続して「地域の教育力」を生かした授業を実施するとともに「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた、より深まりのある授業実践をねらいとしている。効果的にこの視点を取り入れるため、授業では友達のアイディアや作品についてお互いに考えを交流する‘交流タイム’を設ける。この‘交流タイム’により、生徒は悩みを共有したり今まで自分では思いつかなかった考えや思いなどを知ったりすることができるであろう。この交流を通して、自分のアイデアを補強し、より質の高い作品作りのヒントとさせていきたい。また、自分の作品を他人の作品と比較し“上手・下手”という単純な自己判断によって自信を失っている生徒には、楽しく、やる気をもって課題に取り組むことができ

るように指導していきたい。そのためには、机間指導を徹底し、個に応じた適切な指導・支援を行い、「できる」「できた」という自己表現の喜びを積み重ねることが大切である。作品完成までの各段階で模範を見せたり、制作後の生徒相互の振り返りで鑑賞する時間を設けたりして指導・支援し、互いのよさを認め共有し合う喜びを味わわせ、生徒の自信と意欲を高めていきたい。

3 学習指導要領上の位置付け

A 表現—（2）
伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を通して、発想や構想に関する次の事項を指導する。
ア 目的や条件などを基に美的感覚を働かせて、構成や装飾を考え、表現の構想を練ること。

B 鑑賞—（1）
美術作品のよさや美しさを感じ取り味わう活動を通して、鑑賞に関する次の事項を指導する。
ア 造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫、『美の機能性の調和、生活における美術の働きを感じ取り、作品などに対する思いや考えを説明し合うなどして対象の見方や感じ方を広げること。

[共通事項]
ア 形や色彩、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解すること。
イ 形や色彩の特徴などを基に、対象のイメージをとらえること。

4 目標及び評価規準

(1) 題材の目標

マイ・シューズのデザインに関心をもち、考えたこと、夢、想像や感情を基に構想を練り、表現意図に応じた色や形を創造的に表現するとともに、他者の作品から作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り味わう。

(2) 本題材における評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
表現 関 「マイ・シューズ」というテーマを基に、夢、想像や感情などを表現することに関心をもち、主体的に主題を練ろうとしている。	発 「マイ・シューズ」というテーマを基に、夢、想像や感情などから主題を生み出している。	創 ポスターカラーの特性を生かし、表したいイメージをもちながら自分の表現意図に合う新たな表現方法を創意工夫するなどして表現している。	鑑 形や色彩などの特徴や印象などから作者の心情や意図と創造的な表現の工夫を感じ取り、自分の価値意識をもって味わっている。

<p>表現 関 用具の特性などを主体的に生かし、表現方法を工夫して表現しようとしている。</p> <p>鑑賞 関 形や色彩のどの特徴や印象、本質的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などに関心を持ち、主体的に感じ取ろうとしている。</p>	<p>発 主題などを基に想像力を働かせ、形や色彩の効果を生かして単純化や省略、強調、などの組み合わせを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かな表現の構想を練っている。</p>		
---	--	--	--

学習活動	関	発	創	鑑	評価方法
<p>1 題材の学習内容を理解し、制作の発想を持つ。 〔参考作品、資料などの鑑賞〕 (1.5時間)</p>	○	○			<p>関 表情 発 ワークシート(アイデアスケッチ)</p>
<p>2 構想を練る。 〔アイデアスケッチ～デザインの設定〕 (1時間)</p>	○	○			<p>関 表情、対話 発 ワークシート(アイデアスケッチ)</p>
<p>3 着色をする。 〔描画材料の特徴を生かし、計画的に制作する。〕 (3時間)</p>	○		○		<p>関 表情、観察、対話 創 作品</p>
<p>4 鑑賞・自己評価 〔自分の作品紹介カード・自己評価カード〕 (1時間)</p>	○			○	<p>関 表情、観察、対話 鑑 対話、記述</p>

6 本時の学習 (本時1 / 6.5時間)

(1) 目標 参考作品や資料を参考に自分が履きたいシューズのデザインを想像し、表現を工夫して知識や技能を活用し計画的に制作する。

(2) 準備

- 教師：生徒作品・ワークシート・自己評価シート・参考資料
- 生徒：教科書・資料集・スケッチブック・筆記用具・色鉛筆

(3) 展開

過程・時間	主な学習活動	指導上の留意点 ([共]:共通事項に係る内容)	評価と手立て 観点:評価規準【評価方法等】 ◎A評価◆C評価(支援) ★研修テーマとの関わり
導入 5分	<p>○参考作品を提示しながら本題材の説明を聞く。</p> <p>○「マイ・シューズ」のワークシートを用意し本時のねらいを理解する。</p> <p>○制作の上での注意事項について理解する。</p>	<p>○写真や過去の作品を黒板に展示紹介し、生徒の興味関心を高める。</p> <p>○生徒が、<u>形や色彩の特徴などを基に、対象のイメージをとらえることができるように</u>掲示物を提示する。 [共]</p>	<p>関興味・関心を持って授業に取り組もうとしている。【観察・表情】</p> <p>◎準備を済ませ、本題材に興味を持ち、意欲的に授業の内容を理解しようとしている。</p>
展開 40分	<p style="text-align: center;">自分が履いてみたいシューズのデザインを考え、アイデアスケッチをしよう!</p> <p>○自己評価シートにねらいを記入する。</p> <p>制作</p> <p>○資料や写真集などを参考に、自分が履きたいシューズのデザインをアイデアスケッチする。</p> <p>・様々な表現の可能性を確かめながら、自分の意図する主題に迫る表現を工夫する。</p> <p>○‘交流タイム’を設け、グループ内でアイデアスケッチをお互いに観察し、発表し意見交換などをする。意見交換を通して新たに思いついたことを、明確にしていく。</p>	<p>・進行状況から、つまずいている生徒を中心に適切な指導を心がけていく。</p> <p>・制作の上で新たに出た留意点があれば、その都度説明する。</p> <p>○形や色彩の効果を生かし、組み合わせなどを考えながら、創造的な構成を工夫し心豊かなで独創的な表現へ発展させる。</p> <p>○生徒一人一人に対して良い点を見つけ、言葉がけをしていく。</p> <p>○アイデアスケッチを参考に、本番の画用紙に描かせる。</p>	<p>発自分の発想したことを形の中に効果的に取り込み、楽しさなどを追及しながら構想を練っている。 【アイデアスケッチ】</p> <p>◆つまずいている生徒に対して、イメージがわくようにヒントとなる言葉がけをし、改善を図る。</p> <p>◎発想が明確にまとめられ、自分の表現したい発想がはっきり表現できている。</p> <p>関積極的に意見交換しようとしている。</p>

	<p>○自分のデザインを効果的に見せる方法について再考する。</p>	<p>*アイデアスケッチが終了した生徒に対しては、本番の画用紙を配布し下書きに取り組ませる。</p>	<p>◆デザインの発想を表現できていない場合は、もう一度見直すように促し、自分の主題に合った表現になるように助言する。</p> <p>★友達のアイデアや作品を観察し意見交換などをさせる。</p> <p>発 自分の意図に応じてよく考え工夫して、効果的に美しく表現しようとしている。</p>
<p>整理 5 分</p>	<p>○本時の活動を振り返り自己評価シートに自己評価を行う。</p> <p>○作品の保管、制作用具の片付けを行う。</p> <p>○次時の授業の準備を確認する。</p>	<p>○自己評価をさせる。</p> <p>○次回の連絡・説明をする。</p>	

私の授業 観てほしいポイント

《付箋の活用方法》

青：授業の良かった点

赤：授業の改善点

黄：改善提案（こういう方法はどうか）

所属校・学年 久喜市立太東中学校 1学年

題材名 マイ・シューズ

学習内容 自分が履いてみたいシューズのデザインを考え、
アイデアスケッチをしよう！

① 導入 ・本時のねらいを理解できているか。

② 展開 ・課題に意欲的に取り組んでいるか。
・努力を要する生徒への手だてはできているか。
・「生徒一人一作品の良いところ一言」を実践しようとしているか。
・「交流タイム」は課題解決のために効果的であったか。

③ 整理 ・本時の学習によって次回への学習の意識につながられたか。